

大腸癌内視鏡的切除後非治癒切除例におけるリンパ節転移予測因子の検討

1. 研究の対象

18 歳以上で 2018 年 4 月～2023 年 12 月の期間に大腸癌で内視鏡治療を行い、非治癒切除と判定された方

2. 研究の概要

リンパ節転移リスクの低い早期大腸癌に対して内視鏡的切除が標準治療として行われています。切除後の病理学的検査結果からリンパ節転移のリスクを算出し、内視鏡治療後に追加治療を行うべきかどうかを評価しています。しかし、現在分かっているリンパ節転移のリスク因子による評価は完全なものではありません。そこで今回、新しいリンパ節転移予測因子を探索するためにこの研究を行います。

研究期間: 総長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的: 大腸癌内視鏡治療後の新規リンパ節転移予測因子を同定することです。

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、内視鏡治療内容、追加治療の有無、追加治療内容、追加切除後の病理結果などを評価します。また、CT などの画像見直し、病理検体の追加染色検査などを行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、内視鏡的切除内容、内視鏡的切除の病理結果、追加治療内容、追加切除後の病理結果等

試料: 内視鏡治療後の切除検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 吉井 俊輔

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上